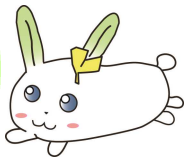
10月 二宮小学校便り



令和元年
10月31日 発行

早いもので、２学期も折り返しを迎え、後半に入りました。10月は、30日(水)に行われた音楽会に向けて、学年や学級で準備、練習を重ねる月でした。音楽の学習の成果を発表することはもちろんですが、友達と協力することの大切さや他の学年、学級のすばらしさを感じ取ることもこの音楽会の目標となっています。

じっくりと音楽に向き合った10月に引き続き、11月も落ち着いた生活が送れるよう、学校全体取り組んでいきたいと思います。

「お礼の会」が開かれました

10月１日(火)にお礼の会を行いました。日頃から登下校の見守りや学習の支援、また校内環境の整備等でお世話になっている地域の方々にご参加いただきました。子どもたちから月の歌「この星に生まれて」とお礼の言葉、そしてメッセージカードをお贈りしました。このメッセージカードは、色を塗ったり、メッセージを書いたり、貼り合わせて整えたりと、全学年が力を合わせて完成させました。

地域の皆さま、いつも二宮小学校の子どもたちのためにご尽力いただき、どうもありがとうございます。

５年生によるキャンドルファイヤー

５年生の野外活動教室が、10月11日(金)から12日(土)の２日間で予定されていましたが、台風19号の接近により、残念ではありましたが、足柄ふれあいの村に行っての活動を中止としました。５年生の子どもたちは、様々な準備をしてこの野外活動教室を迎えようとしていましたが、自然に勝つことはできませんでした。その代わりとして、当日の夜に行う予定だったキャンドルファイヤーを11日の午後、体育館で行いました。

まず、火の神と５人の火の子がキャンドルに火を灯し、厳かな雰囲気の中で始まりました。５人が灯した火には、「自主」「責任」「協力」「伝統」「自然愛護」の５つの意味が込められています。これらは、この野外活動教室の目標そのものです。

その後、ゲームをはさみながら、各学級のスタンツ発表に移りました。

まず、５年２組の「学校あるある」。朝、授業、休み時間、掃除など、学校生活のいくつかの場面を劇で紹介しました。

次に、５年３組の「協力」。ハカの踊りでみんなを元気づけた後、学級全体で息の合ったダンスを披露しました。

そして、５年１組の「二小七不思議」。二宮小学校に伝わっている？七つの不思議な出来事を劇で紹介しました。

最後に、エールマスターが火を一つ一つ消しながら、５つの火の意味を振り返るとともに、過ごした時間を胸に刻みながらキャンドルファイヤーに終止符を打ちました。

10月の学習から

２年生の生活「うごく うごく わたしのおもちゃ」について紹介します。これは、動く仕組みを考えながら身の回りにあるものを使っておもちゃを作る学習です。２年生が工夫して作ったおもちゃは、「魚つり」「ヨットカー」「ぴょんぴょんうさぎ」「トコトコがめ」「わりばしでっぽう」「びっくりばこ」などいろいろです。

自分たちのおもちゃができ上がった後は、１年生を招待して「あそぶ会」を開きます。お兄さん、お姉さんになった２年生が、１年生に楽しく遊んでもらうために、遊び方やルール、きまりなどを考え、これから会を計画していきます。遊び方をどのように説明したらわかりやすいかな、どんなルールにしたらもっとおもしろくなるかな、そのようなことを２年生は一生懸命考えています。